

2026年1月からアップデート！

【TOEFL iBTテスト変更点】

英文は短く、問題数は多くなる！基礎力を試す問題が入り、受験者のレベルに合わせて難易度が変わる！

セクション		旧形式		改訂後
リーディング ★アダプティブ方式 変更ない項目は従来の教材で対策を！	内容	アカデミックな文章（700語） + 10問×2題	★ 新形式	①単語完成問題★ ②日常生活に関する文章の読解★
	問題数	20問	変更なし	③アカデミックな文章の読解(200語)
	試験時間	約36分	→	35～48問（①②③×2モジュール）
			→	約27分
リスニング ★アダプティブ方式 変更ない項目は従来の教材で対策を！	内容	長めの会話、アカデミックレクチャー+11 or 17問×2題	★ 新形式	①応答問題★ ②日常会話の聞き取り★ ③学校関連のアナウンス聞き取り★
	問題数	28問	変更なし	④アカデミックな講義の聞き取り ※北米、英国、オーストラリア、ニュージーランドのアクセント含む。
	試験時間	約36分	→	35～45問（①②③④×2モジュール）
			→	約27分
ライティング 変更ない項目は従来の教材で対策を！	内容	①アカデミックな文章 + レクチャーを聞く + 内容要約 ②アカデミックディスカッションを読む + 意見を書く	★ 新形式	①短文完成★ ②Eメールの返答を書く★
	問題数	2問	変更なし	③アカデミックディスカッションを読む + 意見を書く
	試験時間	約35分	→	12問
			→	約23分
スピーキング 公式サイトで新形式対策できます！ 	内容	①身近なトピックの質問に対し、意見を言う ②文章を読み、レクチャーを聞いて内容を要約 ③アカデミック関連のレクチャーを聞く + 内容要約	★ 新形式	①一連のセンテンスの暗唱 (Listen and Repeat)★ ②インタビュー動画に応答★
	問題数	4問	→	11問
	試験時間	約16分	→	約8分
試験時間	全54問→全93～116問 トータル2時間24分→トータル2時間			

【改訂ポイント】

①問題形式の変更：「アカデミックディスカッション」以外が変わる！

- ・リーディング、リスニング、スピーキングの3技能の統合問題などがなくなる。
- ・英文は短めに、問題数は多くなり、基礎力を試す問題が多く出題される。

②アダプティブ方式：モジュール1の正解/不正解により、モジュール2の問題と問題数が受験者によって変わる！

- ・モジュール2は学習者のレベルによってUpperとLowerにわかれて出題されます。※リーディング、リスニングのみ

③スコアスケールが2つになる：国際基準（CEFR）対応！

- ・1～6の新しいバンドスケールと、従来の0～120スケールの両方を表示。

◎形式は大きく変わりますが、

求められる基本的なスキルは変わりません。

